



星はどうして光っているの

太陽の光を反射しているものと、自分から光っているものがある

夜空にかがやく星には、いくつかの種類があります。

星座を形づくっている星は、太陽と同じこう星で、自分で光や熱を出して、かがやいています。

地球や火星、金星などは、太陽の周りを回るわく星で、太陽の光を反射して、かがやいて見えます。

そして、わく星の周りを回る衛星も、太陽の光を反射しています。また、流星は、地球の大気とのまさつ熱（こすれあって出る熱）でかがやきます。

こう星は、光のエネルギーをつくり出している

こう星は、ほとんどのものが、水素というガスからできていて、星が光るエネルギーのもとをつくり出しています。

水素は、核融合反応という反応（二つ以上の物質がいっしょになって、変化が起こること）によって、ヘリウムとよばれるものにか変わります。

この核融合反応のときに、高い熱と強い光を出します。それで、星がいつも光って見えるのです。（監修・国司 真）

